

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業  
(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野))

「ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む  
臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究」

平成30年度 分担研究報告書

臓器提供医療機関における選択肢提示に関わる研究

研究分担者 江口 晋 長崎大学大学院 移植・消化器外科 教授

研究要旨

臓器提供数の増加の為に、いかに臓器提供に関する情報提供・選択肢提示を行うかが重要な鍵と考えられる。選択肢提示における現在の取り組みを調査し、改善点を明らかにすることを目的とし、研究を行った。臓器提供における選択肢提示において、移植医は、施設レベル、地域レベルでの現状・課題をよく知った上で、主治医への負担軽減や、スムーズな情報提供システムの確立など、移植医療の現状に精通している利点を活かして、チームの一員として、臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の研究に関わることが重要と考える。2017年度、長崎大学病院の取り組みとして、臓器提供時の主治医の業務負担軽減を目指した業務分担ワーキンググループを立ち上げた。2018年度、院内での臓器摘出支援チームの問題点を調査、話し合いを行い、臓器摘出支援チームの体制整備を行った。

A. 研究目的

臓器提供数の増加の為に重要と思われる  
選択肢提示数の増加につながる方策を考  
える。

B. 研究方法

選択肢提示数増加を目指した施設レベル  
で実施可能な取り組みを探索する。臓器提  
供の増加において、当施設での問題点を明  
らかにし、それに対する対策を講じる。  
(倫理面への配慮)  
特になし。

C. 研究結果

これまで当施設では10件の脳死下臓器提  
供を行っている。各主治医へのアンケート  
調査では、脳死ドナーの管理で数日拘束さ  
れ、日常業務の妨げになっていることが挙  
げられた。臓器提供の選択肢提示が進まな

い一因に主治医の負担が大きいことが挙  
げられる。そこで、当院では2017年より主  
治医負担軽減を目指した業務分担ワーキ  
ンググループを立ち上げた。

2018年ワーキンググループによる話し  
合いを行い、下記のごとく、「脳死下臓器提  
供支援チーム(肺、肝、腎移植チームから  
構成)」の業務補助を行う方針とした。

1. オーダーの補助  
血液検査や画像診断のオーダーで主治医  
をサポートする。
2. ドナー管理  
ICUへの移床、ICUでの管理を主治医と共  
に行っていく。
3. MC(メディカルコンサルタント)  
対応二次評価  
実質的なメディカルコンサルタント医  
との対応を行う。
4. 摘出前準備

3次評価、手術室への搬送を補助する。

#### D . 考察

2018年臓器摘出支援チームによる体制整備を行ったが、脳死下提供は発生せず、具体的な主治医負担軽減の評価は出来なかった。しかし、これまで臓器提供において主治医の負担が大きいのは事実である。各施設で臓器提供時の業務分担軽減が確立されることで、主治医負担の軽減が実行されることが期待される。それにより、臓器提供の選択肢呈示の増加が、今後期待される。一方、全国の5類型施設数のうち、ガイドラインが規定する体制が整っているのは862施設中426施設と約半数であり、施設レベルの取り組みだけで、臓器提供数を増加させるには限界があると思われる。将来的にはOrgan Procurement Organizationの導入や院内コーディネーターの充実による標準化が望ましい。

#### E . 結論

臓器提供が増加するために、各施設、地域レベルでのシステムづくりが重要である。今後、行政と情報共有を図り、スムーズな選択肢提示、臓器提供のシステム構築が必要である。

#### F . 健康危険情報

なし。(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

#### G . 研究発表

##### 1. 論文発表

・Eguchi S, Hibi T, Egawa H. Liver transplantation: Japanese contributions. J Gastroenterol. 2018;53(9):1107-1108.

・Takagi K, Miura K, Nakanuma S, Sakamoto S, Yamamoto H, Yagi T, Eguchi S, Ohta T, Wakai T, Ohtsuka M, Uemoto S, Kasahara M, Inomata Y Six National University Consortium in Liver Transplant Professionals Training (SN UC-LT) Program in Japan. Transplant Proc. 2018; 50(1):168-174

・Eguchi S, Soyama A, Hara T, Natsuda K, Okada S, Hamada T, Kosaka T, Ono S, Adachi T, Hidaka M, Takatsuki M. Standardized hybrid living donor hemihepatectomy in adult-to-adult living donor liver transplantation. Liver Transpl. 2018 ;24(3):363-368.

・Huang Y, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Ono S, Adachi T, Hara T, Okada S, Hamada T, Eguchi S. Living Don

or Liver Transplantation for Wilson's Disease Associated with Fulminant Hepatic Failure: A Case Report.

Am J Case Rep. 2018 17;19:304-308.

・Huang Y, Hidaka M, Takatsuki M, Soyama A, Adachi T, Ono S, Kugiyama T, Hara T, Okada S, Yoshimoto T, Hamada T, Eguchi S. Surgical findings and technical knacks to performing living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma recurrence after carbon ion radiotherapy. J Surg Case Rep. 2018 22;2018(8), 1-4

・Takatsuki M, Hidaka M, Soyama A, Hara T, Okada S, Ono S, Adachi T, Eguchi S. A prospective single-institute study of the impact of Daikenchuto on the early postoperative outcome after living donor liver transplantation. Asian J Surg. 2019;42(1):126-130.

##### 2. 学会発表

・第118回日本外科学会定期学術集会 サージカルフォーラム 「当科における脳死肝移植の検討」大野慎一郎, 曾山明彦, 日高匡章, 足立智彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口晋 2018/4/5-7東京

・第36回日本肝移植研究会 一般演題「長期間寛解が得られていた自己免疫性肝炎をドナーとする脳死肝移植の1例」濱田隆志, 日高匡章, 曾山明彦, 足立智彦, 大野慎一郎, 松島肇, 岡田怜美, 前川恭一郎, 三馬聡, 宮明寿光, 高槻光寿, 江口 晋 2018/5/25-26 東京

#### H . 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

なし。

##### 2. 実用新案登録

なし。

##### 3. その他

なし。